

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

HOKUTO TIMES

大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

36

2013/10



大洲中央病院では
創傷の治療を促進させる
画期的なV.A.C®ATS
システムを導入しました。

医師 森岡 徹

看護師 新上 千春

Zoom Up!
Oozuchuo Hospital

病院
案内

【褥瘡(じょくそう)対策】

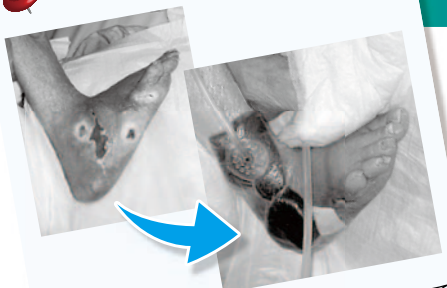
できやすく治りにくい 褥瘡(床ずれ)はまず予防から

「褥瘡(じょくそう)」とはいわゆる「床ずれ」のことで、特に高齢者に多く見られる症状です。褥瘡は皮膚のある一部分が長時間圧迫され、血液がいかなくなることによって発生する、大変厄介な病気です。褥瘡は2時間程度、同一箇所に圧が加わる

と発生すると言われています。自分で体位を変えることができない寝たきりの方や麻痺のある方などは発生のリスクが高いと言えるでしょう。

褥瘡ができやすいのは仙骨部(お尻の中央の骨が出た部分)・踵骨部(かかと)など骨が出ている部分です。

大洲中央病院では褥瘡対策委員会を設置しています。



V.A.C®ATSシステムを装着し、治療しているところ



大洲中央病院では 褥瘡対策委員会を設置し、 予防と早期の治癒を目指しています。

看護主任 宮崎 志津江 | 看護師 道岡 香

Zoom Up!
Oozuchuo Hospital

病院
案内

【褥瘡(じよくそう)対策】

「当院では看護師が2時間おきに患者さんの体の向きを変えているので、重症化することはほとんどありません。褥瘡は予防が最も重要で、もし発症してしまった場合も早期に発見し適切な治療を行うことが大切です」(外科医師・森岡徹)

患者さんともっとも身近で接している看護師が患者さんの状態を細かく観察し、予防に努めます。「体位変換や処置のとき、皮膚が赤くなっていないか？ 清潔な状態が保てているか？ 栄養管理はできているか？ などを注意深く見えています」(看護主任・宮本芽久美)

在宅で介護をされている場合も同様に、こまめに体位をかえる、着替えなどの際は着衣を引っ張らず持ち上げて交換する(皮膚をこすらないため)、圧力が分散するベッドを使用する(体を支える場所を変える)、清潔を保つこと、栄養のあるものを摂取することなどに気をつけていただく必要があります。

当院では最新のエアーマットレスなどを使用し、体圧が分散されるような予防策を取っています。

また、寝たきりの方だけでなく、車椅子を利用している方にもよく起こるため、こまめに姿勢変換を行ったり、座面クッションなどを利用するなどして



最新のエアーマットレス

体の一部分に圧が掛からないようにしなければなりません。

「栄養状態の確認をするため検査科では、血液検査を行い、そのデータは医師と管理栄養士に届けています」(検査技師・崎岡健彦)

「褥瘡治療のために血液データをもとに、栄養を補足するためのメニューづくりに取り掛かります。患者さんの多くが高齢者ですので、栄養価の高いものを食べていただきたいくても、咀嚼がうまくできないなど必要な栄養素をとることもままならない場合があります。そこで、栄養補助食品なども上手に活用しながら患者さんの状態を良くしていくよう努めています」(管理栄養士・玉井栄子)

どれも家庭での褥瘡予防に取り入れていただくことで、悪化すればますます治療に時間がかかってしまいますので、気になる症状があればお気軽にご相談ください。

難治性の褥瘡も治せる 最新治療が保険適用されました

褥瘡には評価方法があり、ブレーデンスケールでは危険レベルを4段階で表し、レベルが上がるほど治療時間を要すと言われています。危険レベルが上がると手術が必要となることもあります。

「昨年当院では、特に難治性の患者さんに対してV.A.C®ATS治療システムの導入を始めました。これは50年に一度のトピックとも言われるもので、患部を密閉して陰圧状態(外部の圧力より低く保つこと)を作り、創傷の治療を促進させる画期的

V.A.C®ATS
治療システム



なシステムです。当院では昨年から3例、治療・改善という結果を出しています」(外科医師・森岡徹)

V.A.C®ATS治療システムは、けがや褥瘡など、治りにくくなった傷に対し創傷治療を促進させる治療法で、欧米では10年以上前から導入され、日本でも2010年から保険適用されるようになりました。

利点は『治療期間の短縮』と『コスト削減』が可能になったことです。機械を装着することによって、消毒やガーゼ交換などにかかっていた時間が大幅に削減できるので、スタッフの負担も少なくなり、医療用品も最小限に抑えられます。携帯できるサイズで移動も可能です。

このシステムを使った難治性の患者さんは、平均して約2週間も入院期間が短縮していますので、患者さん側の身体的・精神的・金銭的な負担も抑えられます。

当院では皆様に安心して治療を受けていただけるよう今後も、最新の医療機器の導入や、スタッフの知識・技術の向上に努めてまいります。

新築工事完了にて、 11月7日(木)より『病院入口』が変わりました。



新しい入口

以前の入口

新しい入口

以前の入口



院内美術館 7



『立葵』
カシニョール作

タチアオイと、優しく微笑む女性

今回ご紹介するのは、5Fのスタッフステーション前にあるリトグラフです。作者は優美な色彩とエレガントな雰囲気、世界中で愛され続けるフランス画壇の巨匠カシニョール。この『立葵』（1991年）は、背景一面に描かれたタチアオイと女性の優しい微笑みが印象的で、葉の緑、花と女性の肌のピンクが調和を取り、とても綺麗な作品です。（『紫陽花』、『会話』、『モンテカルロ』も所蔵）



カシニョール (Jean-Pierre Cassignoul) / 1935年生まれ / パリ美術学校教授ジャン・スヴェルビィに師事。1958年以来、パリを中心に世界各地で個展を開催。日本でも特に人気のある作家。

次号は安野光雅「ピエルサラム」をご紹介します。

愛媛県放射線技師会主催、H25年度南予部研修会

8月3日(土)、喜多医師会病院において愛媛県放射線技師会南予部研修会が開催され、当院3T-MRI装置での頭部MRA評価について発表させて頂きました。



当院3T-MRI装置は、高分解能撮影が可能となり、従来装置より高精細な画像が描出され診断能力向上が図れます。また現状では南予地域の施設において、当院にのみ導入している機器であるため、他の施設関係者の関心が高く、多くの質問を受けました。今後導入される施設も増えてくると思われます。

他にも、多数の演題発表や原子力関係者の方による放射線量を測るためのサーベイタの使い方などを聞き、大変勉強になりました。

今後このような機会を大切に、自己研鑽に励み、質の高い医療を提供できるように努力していききたいと思います。

放射線科 井上 靖之

職場体験学習

7月4日に職場体験学習を行いました。中学生が、実際に様々な職場に出かけ、働く現場を体験することで、働くことの厳しさや楽しさを実感したり、社会のルールやマナーを学んだりする場の提供を行っています。今年もお二人の参加があり、医師・看護師ほか、各職員へのインタビューや患者さまの食事介助、各部署の見学などを行いました。参加者からは、「学校では学べない貴重な体験ができ、充実した一日でした」と好評でした。中学生が真剣に取り組むまなざしに、私たちも初心に帰り元気をもらいました。



東館3階 看護師長 高岡 美智代

いもたきを行いました

季節行事特攻隊の方主催によるいもたきが9月30日(月)18時30分より、如法寺河原にて行われました。85名の参加者で大所帯のとても賑やかな宴となりました。



仕事ではなかなか話せない先生方や色々な部署の方と話すことが出来て、楽しい時間を過ごすことができました。お互いにコミュニケーションを図り、今後の業務に役立てようと思います。また、次回の季節行事に期待しています。



医事課 診療録管理士 矢野 万奈

医療安全セミナー開催

9月20日、26日に病院で「医療安全管理研修～転倒・転落防止対策編～」が開催されました。研修では、まず転倒・転落の発生要因や対策の講義のあと、実際の場面を想定して、どこにリスクが潜んでいるかを考える学習を行いました。病室や廊下などの見慣れた光景の中にも多くのリスクが潜んでいて、事故を防止するためには、リスク感性を磨くことが重要だと再認識しました。



この研修で学んだことを活かし、患者様が安心して療養できる環境作りに取り組んで行きたいと思えます。

東館2階 看護主任 宮本 芽久美

外来診療医師一覧表

診療科目		木曜	金曜	土曜	日曜	月曜
内科	1 診	大久保啓二※	大久保啓二※	大久保啓二※	大久保啓二※	池本 純※
	2 診	寺尾 孝志	池本 純※	池本 純※	寺尾 孝志	寺尾 孝志
	3 診	井上 明子	近藤 誠司	寺尾孝志(第1・3・5)	近藤 誠司	井上 明子
		[初診]		近藤誠司(第2・4)		[初診]
4 診		越智 明子		池本 純(第1・3・5)	越智 明子	
		[初診]		小島直彦(第2・4)	[初診]	
外科	1 診	森岡 徹	森岡 徹		森岡 徹	森岡 徹
	2 診	満谷 臨		満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨
	3 診		武内 成禮	武内 成禮		
整形外科		栗田 英明	栗田 英明	栗田 英明	栗田 英明	栗田 英明
泌尿器科		清水 公治	清水 公治	清水 公治	清水 公治	清水 公治
脳神経外科	1 診(新患)	西原 潤	宮崎 始	西原 潤	橋本 尚樹	西原 潤
	2 診(再診)	橋本 尚樹	西原 潤	宮崎 始	西原 潤	橋本 尚樹

編集後記

暑かった夏も終わり、季節は本格的な秋へと移り変わろうとしています。今年も秋桜や紅葉が見頃となり、私達を楽しませてくれるのではないのでしょうか。

新病院もいよいよグランドオープンを迎えることとなりました。これからも地域医療に携わる病院としてスタッフ一同、思いやりと優しさのある医療を提供していきたく思いますので、よろしくお願いたします。

発行/医療法人 北斗会 大洲中央病院

編集/広報委員会

寺尾光司(事務部長・理事)/京河(放射線科)/伊場(看護副部長)/伊達・福島(看護部)/福田・和田(リハビリテーション科)/谷本(医事課)/松本(総務)/檜巻(栄養科)

受付時間 午前8時00分～午前11時30分

診療開始時間 午前9時00分～ 担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。(休診になる場合あり) ※は、予約診療になっています。

休診日(11～1月) 救急診療のみ…11月3日(日)、11月23日(土)、1月3日(金)
休診日……………火曜、水曜、12月23日(月)、12月30日(月)、12月31日(火)
1月1日(休)、1月2日(休)、1月13日(月)
※11月4日(月)は通常の診察です。1月4日(土)～通常どおりです。

医療法人 北斗会
大洲中央病院
Oozuchuo Hospital

